

受益者の皆さまへ

コモンズ投信株式会社

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗

## 【特別レポート】～ 株式市場の下落と弊社運用ファンドについて ～

## ○2月25日の各ファンドの基準価額騰落率(前日比)

	基準価額	前日比	騰落率
コモンズ 30 ファンド	27,994 円	▲782 円	▲2.72%
ザ・2020 ビジョン	15,656 円	▲457 円	▲2.84%
コモンズ 30+しずぎんファンド	12,508 円	▲346 円	▲2.69%

## &lt;ご参考&gt;

	2月25日終値	前日比	騰落率
TOPIX(東証一部株価指数)配当込	2468.87	▲85.03	▲3.32%
日経平均株価	22605.41 円	▲781.33 円	▲3.34%
東証マザーズ指数	798.36	▲30.1	▲3.63%

1.本日の市場動向

新型肺炎の感染がアジアだけでなく中東や欧州にも広がり、2月24日の欧米市場を中心に主要株価指数が軒並み下落しました。その流れを受け、2月25日の日本株式市場は、日経平均株価が寄り付き直後に1,051円安の2万2,335円まで下げるなど、東京市場も大幅下落から始まりました。

ただ売りを巡っては国内機関投資家の押し目買いや短期筋の株式先物の買戻しもあり、日経平均は安値から約400円程度の反発となりました。しかし、今後の世界景気や企業業績の先行き不透明感もあり、上値には戻り待ちの売りも多く戻り幅は限定的となりました。

2.コモンズ投信代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗 からのメッセージ

平素よりコモンズ投信をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

昨日、NYダウの1,000ドルを超える下落をはじめ、欧州の主要市場でも5%前後の下落と世界同時株安となりました。

本日の東京株式市場も、こうした流れを受けて一時、日経平均株価は1,000円を超える下落となりました。

これは新型肺炎が中国以外のアジア、欧州でも感染拡大をはじめたこと、また、その影響が米国の経済データにも表れ始めたことなどが背景と考えています。

先週のメールマガジンでも述べましたが、当社では1月下旬以降、新型肺炎がインバウンドなどに与える直接的な影響以外に、グローバルサプライチェーンに与える影響などが大きいと判断し、当社では企業との対話を積極化してきました。

その過程で、中国武漢が製造拠点としての位置づけが大きく、自動車産業はじめさまざまな分野へ影響を及ぼすことを把握してきました。一方で、株価は政策期待への高まりを受け、意外と堅調でしたので違和感持ちながら慎重な運用を心がけてきました。その他の金融市場でも、先週は米国30年国債が史上最低金利を更新、金価格も7年ぶりの高値と、リスク回避傾向が高まってきていました。こうした外部環境の状況も踏まえ、現金比率について、先週末の段階で、コモンズ30ファンドで約10%程度、ザ・2020ビジョンで約15%まで高めて押し目買いタイミングの準備をしてき

たのです。

その結果、本日、日経平均株価や東証一部株価指数の下落幅に比べ、弊社運用ファンドは 0.5%程度下げを回避することも出来ています。まだまだ市場見通しは不透明感が強い状況ですが、押し目買いも慎重に始めています。

こうした下落局面は、近いところでは 2018 年の秋から年末にかけて日経平均株価で 20%以上の 5,000 円を超える下落した時があります。それだけの暴落があっても、この時点のお客さまの損益を分析したところ、つみたて投資を 5 年以上されている方は全ての方がプラスで乗り切ることが出来ました。新型肺炎の拡大の心配に加えて、株価の変調も心配されている方も多いと思いますが、中国工場の稼働も始まりつつありますし、5G が本格稼働する時期ももうすぐです。

株価の変動に一喜一憂することなく、コツコツとつみたて投資の継続で、この局面も一緒に乗り切っていけたら幸いです。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

以上

ファンドの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。  (委託会社が指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%(消費税込)が上限となっております。
換金時手数料	ありません。
運用管理費(信託報酬)	<p>&lt;コモンズ 30 ファンドの場合&gt;</p> <p>ファンドの純資産総額に年 1.078%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により低減する仕組みになっています。</p> <p>&lt;ザ・2020 ビジョン、コモンズ 30+しずぎんファンドの場合&gt;</p> <p>ファンドの純資産総額に年 1.265%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により低減する仕組みになっています。</p>
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の0.11%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ファンドのリスクについて

<p>ファンドは、国内外の株式など値動きのある証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。</p> <p>※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。</p>
---

ご留意事項

<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。</p> <p>◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。</p> <p>◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2061 号 加入協会 一般社団法人投資信託協会  <b>コモンズ投信株式会社</b> 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>
---	--

